

高粘度凝集性懸濁液のレオロジー特性

九州大学工学部 専任員 山下 三洋  
九州大学工学部 正員 二藤 了  
九州大学工学部 正員 栗谷 新一  
九州大学工学部 正員 橋田 哲也

ここでは、高粘度凝集性懸濁液のレオロジー特性を把握するに際し、底泥の落下と下降現象、並びに水成土の貯留物質輸送現象を解明する上で重要である。現在、レオロジー特性を明らかにするために、回転粘度計、細管粘度計、その他特殊水路を用いた種々の検討が行われてきた。研究の進展に伴い、装置手法、流体の置き方、懸濁液と、容器壁とのスリップ現象等の装置特性の検討も、既述の如く進められてきた。本稿では、これらの装置特性の検討に際して、実験装置の構造と、流体の置き方、及び、流体の粘性特性のレオロジー特性値が、各水成土のレオロジー特性値の測定に与える影響を明らかにするに目的がある。

2. 実験装置と手法 図1に同心円筒回転粘度計の概略図を示す。試料は、容器の副容器、外筒(チリウムパイプ、内径129.4mm<sup>2</sup>)と内筒(チリウム、外径98.6mm<sup>2</sup>)から成り、トルクを中間筒(チリウムパイプ、外径111.5mm<sup>2</sup>、内径112.5mm<sup>2</sup>)により検出する。またトルク検出内筒と外筒間の剪断面でのトルクを、試料のレオロジー特性値に与える二次構造に与える影響を検討する為に、通常は二重円筒型と同様に装置と比較した。この場合、内筒(塩化ビニールパイプ、外径94.4mm<sup>2</sup>)をトルクを検出させた。(以下前記を三重型、後者を二重型と呼ぶ。)また外筒は三重型と同径とした。

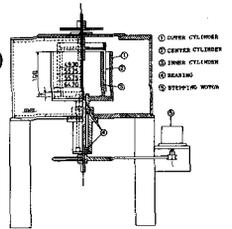


図1 実験装置

表1 試料特性、装置と制御方式

SERIES	MATERIAL	Ps (t/m <sup>3</sup> )	L.L. (%)	P.L. (%)	I.L. (%)	d <sub>50</sub> (μm)	WATER	CYLINDER TYPE	CONTROL TYPE
I	KAOLIN	2.60	51.1	38.5	2.3	5.5	Fresh	Triple axial	Torque
II							Salt	Triple axial	Torque
III	KAOLIN (ASP-600)	2.66	65	36	1.8	0.64	Salt	Triple axial	Apparent deformation rate
Salt							Co-axial	Torque	
IV							Salt	Co-axial	Torque
V	CHIKUGO MUD	2.52	99	41	12	5.3	Salt	Triple axial	Torque

三重型の剪断面が8.95mm<sup>2</sup>、二重型のそれは、19.0mm<sup>2</sup>の。円筒部以外のシステムは共通である。トルクは修正された粘着モーターの検出角より検出され、制御はマイコンにより

トルクを一定に保ち行った。駆動にはステッピングモーターを使用し、トルク検出内筒の位置設定には光電センサーを用いた。実験手順は次のとおりである。まず、材料試料を粘度計容器内に注入し、回転を開始する。トルク設定は、粘着モーター所定の検出角に於ける位置に光電センサーをセットし、その位置によってこれを検出する。トルク検出内筒をその位置に停止せしめる。空筒の角速度測定のために装置境界面に位置するスリットを通過し、着色ポリステレン粒子(直径10mm<sup>2</sup>、密度1.07g/cm<sup>3</sup>)を注入した試料表面におき、目視により角速度と半径(回転中心からの距離)の関係を求めた。結果は外筒の角速度と剪断面での角速度(見かけ角速度)から算出された角速度(見かけ角速度)に比し、実際の角速度分布の線により積分法と微分法を比較して整理した(計算方法の詳細は以下の参考文献を参照)。実験は恒温室内(20±0.1℃)で行った。なお実験の試料特性、装置、及び制御方式の一覧を表1に示す。

3. 実験結果と考察 図2に速度分布の一例を示す。この図の左端が中間筒外壁に、右端が外筒内壁に接する粒子の動きである。左端に於ける角速度がゼロの点で中間筒直ぐ外側にスリットが設けられていた。また、図2は、外筒の内径より外筒の内径が減少していった場合、半径方向にトルクが一様分布したものを示している。図3に図4は同一試料(チリウム ASP-600)の二重型と三重型との比較を示している。前者は三重型、後者は二重型を用いて得られた流動曲線である。これらの剪断面での角速度の剪断に際して、形成される二次構造に与える影響を検討するに際しては、外筒の内径と高水比とを一致させた場合と、二重型の外筒の内径と高水比とを一致させた場合とを比較した。この結果、剪断面での

